

事務事業	11035	子どもの権利の日イベント開催事業	担当課	子育て支援課	担当係	子育て支援係
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	230 子どもが安心して生きる権利を保障する		款	3	民生費
				項	3	児童福祉費
				目	6	子育て支援事業費
法令根拠条例等	志免町子どもの権利条例		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H19 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
しめまち子どもの権利の日(11月20日)にちなんで、子どもの権利の関心や理解を深めるためふさわしい事業を行う。			
			千円
			千円
			千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		主な 事業 費の 内訳	
子どもの権利について啓発や子ども自身の参画を目的としたイベントを開催する。			千円
子どもの権利に関する講演会や、子どもが自らの力で企画実施するイベントなどの開催。			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・広報(「広報しめ」に折込チラシ) ・10周年講演会 ・子どもの権利かるた大会 ・文化祭における権利啓発、出展(H29.11.5) ・子どもの権利の日イベント本番(H29.11.19)	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 実行委員会開催数	回	0	6	6 (見込)	
		イ 実行委員団体数	団体	0	1	1 (見込)	
		ウ 実行委員団体協力者数	人	0	8	10 (見込)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 人口	人	45,757	46,016	46,087 (見込)	
		イ				(見込)	
		ウ				(見込)	
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子どもの権利について知ってもらう。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
		指標数値					
		名称	単位	29年度	30年度	31年度	
		ア 参加人数	人	目標	500	500	600
				実績	199	580	
		イ 参加した町民の割合	%	目標	1.0	1.0	15.0
				実績	0.4	13.0	
		ウ 子どもの権利条例の認知度	%	目標	35.0	75.0	75.0
				実績	29.4	31.3	
		エ		目標			
実績							
オ		目標					
		実績					

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	1,634	2,628	2,765	3,014		
	トータルコスト(A)+(B)	1,634	2,628	2,765	3,014	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
子どもの権利条例(平成19年施行)に基づき、平成19年に開始された。 (条例第5条第3項「町は、「しめまち子どもの権利の日」の趣旨にふさわしい事業を行います。」)	予算について子育て支援交付金の一部が一般財源化されたことにより、全額町の負担となった。	イベント参加者へのアンケート結果(回答人数50人)「子どもの権利条例を知っていますか。」の問いに、回収されたアンケート中36%の方が「はい」と回答。(成果指標のアンケートとは別) 「子どもの笑顔が見れたから楽しい」 「子どもたちの権利を守るための権利条例を町の子どもたちそして親、地域に波及していきたい。」 「一番聞いてもらいたい子どもの権利の話になるとどうしても集客できていない。工夫が必要」

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	29年度に実施した、文化祭での出展。子どもの権利の日近くに実施したかるた大会。 この両イベントを、子どもの権利条例にある「子ども自らの力で企画実施するイベント」として委員を募集し、委員を中心にしたイベントを企画実行する。 29年度は参加率が低かったため、参加率を高め子どもの権利条例をより広めることができる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	総合計画の「子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる」という施策の目的に結びつく。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子どもの権利を尊重し、あらゆる施策を通じてその権利の保障に努めることを総合計画の中で行政の役割としている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	30年度は子どもの権利フェスタの参加率が低かったため、参加率を高め子どもの権利条例をより広めることができる。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	子どもの権利条例に基づいたイベント開催事業であるため、継続の必要がある。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	子ども主体で進めていくため、職員の手助けが必要である。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

30年度は子ども実行委員を募り、子ども実行委員主体でイベントを行った。子供の意見が反映され、司会進行も子ども主体でできていた。スペースdeGUN*から子どもの権利かるたの説明もあり、子どもの権利条例を知ってもらう機会になった。依然として参加率が低いことが課題である。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	30年度に実施した、文化祭での出展。子どもの権利の日近くに実施したかるた大会。 この両イベントを、30年度に続き、子どもの権利条例にある「子ども自らの力で企画実施するイベント」として委員を募集し、委員を中心にしたイベントを企画実行する。また昨年度より実行委員の人数の増加を図る。 実行委員の人数を増やすことで、参加率も高まり、子どもの自主性も高めることができる。 子どもの権利の日イベントも、子どもの権利啓発の一環である。 その為、子どもの権利啓発事業に統合したため。